

# 考え、話し、 変わる日本へ。 だれひとり 取り残さない

立憲民主党 埼玉県第1区総支部長 **たけまさ 公一**



## 「政権交代」があたりまえの「まっとうな政治」実現を！

### 能登半島地震災害復旧復興を

1月1日能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。死者233人、負傷者1282人（1月22日現在）です。亡くなられた方へのお悔やみと、被災された方にお見舞いを申し上げます。

立憲民主党は、発災当日対策本部を立ち上げ、党石川県連を窓口にも全国から支援を行っています。また、募金活動を進めています。1日も早い復旧復興を求めるとともに、被災者生活再建支援法の改正案（1世帯当たりの支援金を倍増して600万円に）を野党3党で提出しました。法案成立を期します。

### 広域避難の実施を

石川県では、広域避難が進められています。埼玉県でも、台風19号の折、蕨市や戸田市よりさいたま市内の避難所を利用する方が多くみられました。自治体を超えた広域避難を進めることは埼玉県も同様です。

また、能登半島の道路が電柱、樹木、建物の倒壊で寸断されている様子を目にされたと思います。

無電柱化の整備状況は、埼玉県は39位（47都道府県中）、さいたま市は15位（20政令都市中）と急がなければなりません。また、建物の耐震化も同様です。特に、災害時の「緊急輸送道路」に指定されている主要道路の無電柱化（2016年法施行）や、耐震化を強力に進める必要があります。

### 羽田空港事故の再発防止を

1月2日、羽田空港では日本航空機と海上保安庁機の接触炎上事故が起きました。亡くなられた海上保安官にお悔やみを、怪我をされた方にお見舞いを申し上げます。

現在、原因究明再発防止のための「運輸安全委員会」が調査を進めています。犯人探しではない「運輸安全委員会」は2008年にそれまでの「航空・鉄道事故調査委員会」が改組されました。

2001年のえひめ丸事故がきっかけでもあり、私も、「独立行政委員会を設置せよ～えひめ丸事故を風化させず危機管理能力強化のために（PHP研究所voice2001年7月号 <https://takemasa-k.jp/speaks/voice.htm>）」を寄稿し「運輸安全委員会」への改組に取り組みました。



政府は、羽田空港への北からの進入路（さいたま市上空で南に機首を変え）を2020年实现するなど、羽田空港は世界第3位の離発着回数（世界混雑空港ランキング2023年版）を数えるまでになりました。しかし、航空管制官の人数は増えていないとの報道もあります。

また、海上保安庁官も航空管制官も国土交通省所属ということで、同じ省という意識から「ナンバーワン（1番目の離陸）」という言葉使いが誤解を生んだとも考えられます。

その後、千歳空港や福岡空港でも管制官と航空機とのやり取りの行き違いが生まれているだけに、一日も早く対策を講じなければなりません。

## 『自民党裏金問題』の解明と再発防止(その2)

国会開会前の、1月19日東京地検特捜部は自民党の安倍派、二階派、岸田派の会計責任者等の起訴など計8人を立件しました。しかし、安倍派事務総長経験者などはおとがめなしです。世論調査でも、8割の方が「納得できない」と答えています。

**また、これを受けて、「派閥解消」が行われましたが、これが問題の本質の解決ではありません。**

何十年にわたり、自民党が党をあげて「裏金」を何に使ってきたのか、その「裏金」により政治や政策がどうねじ曲げられてきたかの解明が必要です。

特に、戦後80年近く、ほとんど政権の座に自民党があるために使われたとしたら、**「議会で多数を占める数のおごり」が「政治、政策のゆがみ」を生んだ可能性があります。**

昨年、「子ども放置禁止条例」が可決寸前までいった埼玉県でも、県議会で自民党が多数を長年占めてきたことによる「数のおごり」が背景にあったと考えます。

また、「国策捜査」といわれるように、なぜ自民党の大量議員が立件されないのか、検察庁の「配慮」が働いてい

ないか。検察庁も法務省の1組織であり、法務省の予算は国会が決定します。**自民党が、権力の座にあり続けることで、「公平公正な捜査」も影響を受けているのではないか。**だからこそ、諸外国は「政権交代」を民主主義の「知恵」として使っています。

日本も「政権交代」が当たり前の「まっとうな政治」の実現を、今年こそ果たさなければなりません。

**政治資金が相続税ゼロで継承されることを禁止に**

昨年10月、立憲民主党は「**政治資金世襲制限法案**」を衆議院に提出しました。(cdp-japan.jp/news/20231020\_6918)



もはや、自民党には「当事者能力」はありません。野党で、政治資金規正法の原案を作ります。そして、政治資金が相続税なしに親族で継承されることで自民党議員の4割が世襲議員となる原因を変えます。

多様な声が反映されるのが民主主義だから「同じ家族からしか国会議員が輩出されない」のはおかしいです。**「政治資金世襲制限法案」は「多様な人材を政治の世界へ」「資金面での候補者間の公平を期す」とうたっています。**

## イベント案内

## 第225回たけまさ公一と語る会

2月23日(金・祝)  
15:00~16:30



【会場】埼玉会館 6B会議室

【テーマ】2024年変わる日本へ 新年度予算他

【参加費】無料 どなたでもご参加いただけます。

## 第8回立憲1区カフェ 兼1区総支部総会

3月30日(土) 14:00(予定)~  
北浦和カルタスホール



すべてのイベントの申し込み、問い合わせ先

**立憲民主党埼玉県第1区総支部**

**たけまさ公一事務所** Tel.048-832-3810

Fax.048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

リンク先申し込みフォームもご利用いただけます。



## 立憲民主党埼玉県第1区メンバー（敬称略）

野本 怜子  
浦和区県議



武田 和浩  
見沼区県議



添野 ふみ子  
浦和区市議



堤 日出喜  
緑区市議



三神 尊志  
見沼区市議



佐々木 郷美  
見沼区市議



## たけまさ(武正)公一 埼玉県第1区総支部長

1961年生まれ。うし年。B型。浦和区大東3丁目在住。妻と一女一男。木崎小・木崎中・浦和高校・慶應義塾大法学部政治学科卒業。松下政経塾出身。

1995年埼玉県議初当選。2000年衆議院議員初当選、以後6期務め外務・財務副大臣・衆院憲法審査会会長代理を歴任。2017年に議席を失うが、チャレンジを。



## 立憲民主党埼玉県第1区総支部 たけまさ公一事務所

〒330-0074

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F

TEL 048-832-3810 FAX 048-832-3846 voice@takemasa-k.jp

たけまさの政策や実績、最新のイベント案内、たけまさ日記など、様々な情報を発信中！**たけまさ**で検索！

**takemasa-k.jp**

たけまさ公一公式サイト

